

六甲山自然案内人の会 平成25年6月定例観察会報告書

実施日：平成25年6月8日（日）

コース：記念碑台～オルゴールミュージアム～心経岩・雲ヶ岩～関大セミナーハウス前～みよし観音～ゴルフ場～六甲ケーブル山上駅

テーマ：心経岩・雲ヶ岩など六甲山岩めぐり（サブテーマ：山岳信仰と薬草の道の辺を歩く）

担当：3班、環境学習プロジェクト

参加人員：ビジター34名、会員45名、環境学習監査関係者4名 合計83名

当日の配付資料：コース地図、植生リスト、環境学習プログラム資料（①六甲山地の生い立ち、②山岳信仰について、③薬草・薬樹について）

【概要】 今回の観察会は県の環境学習プログラムに採択され、環境学習プロジェクトと共催となった。梅雨入り宣言の中、雨の心配をしてきたが、当日は晴天、絶好のハイキング日和となった。県の関係者4名を含め、総勢83名が自然保護センターのレクチャールームに集結。コース概略と注意事項の案内、そして、環境学習班・香西氏による今回テーマ「山岳信仰と薬草」について導入講演。その後、保護センター入口階段で集合写真撮影。ビジターの案内4班、会員案内2班編成で順次スタート。時折吹いてくる涼やかな風と、この時期にしては珍しくからっとした陽気に参加者も浮かれ気味。

【観察記】

1. 香西氏の導入講演（自然保護センターレクチャールーム）

六甲山成り立ちと魅力、鉄漿の材料「フシ(五倍子)」とお歯黒の効用から始まった薬草の話、そして心経岩に関係する仏教の話。難しいキーワードを毛筆でしたためた文字を示しながら、咬み含めるような口調でゆっくり説明していく。パワーポイントでの説明と異なりどンドン話に引き込まれていく。絶妙な導入講演であった。



エントランスで記念撮影



香西氏によるプレゼンテーション

2. 記念碑台からオルゴールミュージアムまで

記念碑台をスタートしてツゲ池でアリマウマノスズクサ、六甲山小学校へ曲がるとすぐにマムシグサの出会い、六小のタマアジサイ、ホザキナナカマド、イロハモミジ、ヤツデ、住宅に植栽されているクリンソウ、シャガ、シランなどを横目で鑑賞。別荘の杉林の下の植生の貧弱さと大きな赤い実をつけ元

気なアオキの対比に感嘆。ベニドウダンの花とサンショウの香りを楽しみ、スイレンが咲く瓢箪池へ。ヴォーリズ山荘の石垣にジュウニヒトエ、ミヤマナルコユリ。薬樹のニワトコ、タラノキを観察。タンナサワフタギの白い花の下ではシロシタホタルガの幼虫が集団で食事中。神戸薬大の薬草園跡を過ぎて山道に、左右にケモノ道が走る。タムシバの葉で香りを楽しみ新池へ。沢沿いにサルナシの群落。このコースはサルナシが多い。駐車場周辺でオオカメノキ、ウリカエデ、カラスザンショウを観察。



シロシタホタルガの幼虫



観察中！観察中！

3. オルゴールミュージアム～心経岩・雲ヶ岩・仰臥岩

ドライブウェイを渡るとエゴノキが白い蕾をたくさんぶら下げている。可憐なツリバナの花、薬樹のキブシの果実。この辺からウツギ類が多く目についた。今回観察できたのはウツギ、エンジ色のヤブウツギ、白のツクバネウツギ、黄色のコツクバネウツギ、紅白のハコネウツギ、小さい花のコゴメウツギ。この行程では、ホオノキの花、クリーム色のクマノミズキの花、アオハダを観察できた。残念ながら、ヤブデマリの花は終わり、ガマズミは開花にはもう一息。ポンプ場を過ぎ細い道に入ると葉のすべすべするクマノミズキの幼木、クロモジ、ヤマヤナギ。アキグミは花をつけていた。コアジサイの香りを確認し、ナガバモミジイチゴの黄色い果実も試食できた。コゴメウツギもこの辺で集中的に観察できた。

行程途中の太いクリノキ(?)に空いたキツツキの巣跡には蜂が巣を構えていた。又、ポンプ場先の枯れ木にもキツツキの巣跡が多く目についた。

昼食は心経岩への登り口前の広場。昼食後、本日のメインイベントである「六甲山岩めぐり」へ出発。心経岩から六甲比女大善神社・雲ヶ岩までは急な鉄階段があり転落の危険を伴うため、班毎に10分間時間をあけて出発。心経岩では般若心経の一節を唱え、記念写真をとる。

岩めぐりの行程では、ヤマジノホトトギス、ショウジョウバカマ、ツクバキンモンソウ、ミヤマナルコユリなどを観察、雲ヶ岩と仰臥岩のベニドウダンの花も盛りは過ぎていたが間近で観察できた。



心 経 岩



ベニドウダン



雲ヶ岩

4. 仰臥岩から六甲ケーブル山上駅まで

仰臥岩で一服後、別荘地帯に入る。別荘の植栽にサイハイラン。ドライブウェイを渡り、関西大学セミナーハウスを通る登山道に入る。(自動車道路は危険なため当初のコースから変更した)

道沿いに、カンアオイとフタリシズカを発見。花穂が一本でもフタリシズカとはなぜと参加者。まだ独身でこれから二人になるのではとの説も飛び交った。ウリハダカエデの大木では大きな翼果を観察。

みよし観音のところで全山縦走路に合流。縦走路沿いは既に観察済のものが多い。道端に鈴なりのナガバモミジイチゴを見つけ皆で味わう。少し甘味が不足。ゴルフ場沿いで、ウグイスとホトトギス、ゴルフ場フェアウェイそばで雄のキジを観察できた。前半の行程で観察したヒガラ?とあわせて4種。

クラブハウス横で縦走路から離れ山上駅に向かう。春、会でササ刈りをした草原も再びネザサが生い茂りつつあった。ササ原を通り抜け観察を続ける班も。ササ原付近でササ刈りのお話を兼ねて休憩。

福祉センター付近でビジター班全てが一緒になった。染色に使うというアカネの観察。染料はアカネの根から採取する。引き抜いた1本の根を全員で観察。ケーブル山上駅への車道沿いでは、クマノミズキ、メギ、ツタウルシ、ムベ、コウヤマキなどを観察。六甲ケーブル山上駅入口で解散とした。



もっとも多かったヤブウツギ



一本だけでもフタリシズカ?

【後記】

年間計画では仙人窟探訪を含めていた。しかし、班内下見の時、仙人窟への道が荒れており、道も大きく崩壊していたため危険と判断し観察コースから外した。今回、エキスパートコースの講師米村さんの話にも必ずでてくる心経岩、雲ヶ岩を初めて巡れた方も多いと思う。このコースはハイカーも少なく、まだまだ山の雰囲気が残っている。季節を変えて歩いてみるのも一興かと思う。



仙人窟はこんなところ (ただの岩?)。



ギフチョウの食草・カンアオイ

以上